

ばい煙発生施設の概要(その1)

区分 既・新・増・変

※備考

施設の設置	着工予定 設置年月日	年 月 日	使用開始予定 年月日	年 月 日				
施設の構造	ばい煙発生施設の種類							
	名称及び型式							
	規模	伝熱面積 (m ²)		バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算L/時)				
		原料の処理能力 (t/時)		火格子面積又は羽口断面積 (m ³)				
		変圧器の定格容量(KVA)		焼却能力 (Kg/時)				
		乾燥施設の容量 (m ³)						
使用の方法	使用状況	1日の使用時間		時～ 時	1か月の使用日数			
		季節変動						
	原材料	生るにも ばい煙の 影響に 限る	種類	使用割合				
			1日の使用量	原材料中の成分割合 (%)	いおう分	カドミウム分	鉛分	ふっ 弗素分
	燃料	種類	比重	成分割合 (%)		灰分	いおう分	窒素分
		発熱量 (Kcal/Kg)						
		通常の使用量	L/時	混熱割合				
	処理方法	処理施設の種類						
		名称及び型式						
		着工予定 設置年月日		年 月 日	1日の使用時間	時 ～ 時		
風量 (Nm ³ /分)			使用水量 (L/分)					
使用薬品名		1か月の使用量						
処理能力		排出ガス温度(℃)	処理前	処理後				
		ばい煙の濃度	ばいじん	処理前	処理後	捕集効率 %		
			いおう酸化物					
煙突・フード等の大きさ		高さ m	頂口径 m	建 属 独立 m 付 属				

備考

- ※印の欄には、記入しないこと。
- 新設の申請にあっては着工予定年月日を、既設にあっては設置年月日を記入すること。
- 既設の申請にあっては使用開始予定年月日を記入する必要はない。
- 規模の欄には、当該施設に該当する項目について記載すること。
- 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A列4番とすること。

ばい煙発生施設概要(その2)

区分既・新・増・変

※備考

排 出 ガ ス 量		最大	$\text{Nm}^3/\text{時}$	通常	$\text{Nm}^3/\text{時}$
排 出 ガ ス 温 度		℃			
排出ガス中の酸素濃度		%			
ばい煙濃度	ばいじん	最大	g/Nm^3	通常	g/Nm^3
	いおう酸化物(容量比)		ppm		ppm
	窒素酸化物		ppm		ppm
ばい煙量(いおう酸化物)		最大	$\text{Nm}^3/\text{時}$	通常	$\text{Nm}^3/\text{時}$
排 出 ガ ス 速 度		最大	$\text{m}/\text{秒}$	通常	$\text{m}/\text{秒}$
排出口の実高さ $H_o(\text{m})$		m	補正された排出口の高さ $H_e(\text{m})$		m
施設から発生する廃棄物の種類及び処理の方法					
大気汚染が著しいときの措置の方法					
添付図書類及	1 ばい煙の排出及び処理作業の系統概要説明書 2 ばい煙の量等に関する説明書 3 ばい煙発生施設の構造概要図 4 ばい煙の処理施設の概要図及び設置場所を示す図面 5 工場等の敷地内のばい煙発生施設の配置図				

※ 許容ばい煙量	K 値 ()	※ 審査結果	
----------	--------------	--------	--

備考

- ※印の欄には、記入しないこと。
- 排出ガス量は、湿りガス量とすること。
- ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は処理後の濃度とすること。
- 用紙の大きさは、図面・表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A列4番とすること。